

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立中央スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	令和6年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		86%
達成率		107.5%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.6%	99.4%	100.2%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	94.6%	93.5%	101.2%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

## 令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異 (実績 - 計画)	主な要因
業務代行料	実績	29,609,840	17,819,804	0	
	計画	29,609,840	16,197,400		
利用料金収入	実績	4,780,770	1,389,660	37,410	利用率、第 1 体育場 99.6%・第 2 体育場 94.6%、ほぼ計画通りであった
	計画	4,743,360	6,213,900		
その他収入 (自主事業収入)	実績	10,504,040	2,665,189	-682,920	自主事業収入は前年度に行われた改修工事に伴う臨時休館の影響があり、教室受講者が計画よりも少なかった
	計画	11,186,960	11,938,400		
合計	実績	44,894,650	21,874,653	-645,510	
	計画	45,540,160	34,349,700		

支出		当年度	前年度	差異 (実績 - 計画)	主な要因
人件費	実績	16,290,679	13,757,876	1,412,499	安定した運営管理を実施するために、計画に無かった嘱託職員 2 名を追加で配置した為、増加した。
	計画	14,878,180	15,205,800		
物件費	実績	17,308,060	10,400,477	-2,761,280	故障個所の発生が見込みよりも少なかった。また、修繕に係る費用が減少したことに伴いメンテナンス委託費にも影響があった。
	計画	20,069,340	14,268,900		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	10,452,999	2,510,621	-139,641	
	計画	10,592,640	4,875,000		
合計	実績	44,051,738	26,668,974	-1,488,422	
	計画	45,540,160	34,349,700		

## 4 管理運営状況の評価 (1 次評価)

## (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	107.5%	B	

## (2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物品の購入及び更新は、複数社から見積もりを取り、最安価業者から購入。</li> <li>・ 備品、設備の修繕は複数社から見積もりを取り、最安価業者にて修繕実施。</li> <li>・ 小修繕に関しては業者に依頼せず、できる限り職員が対応して修繕した。</li> <li>・ エアコンの運転エリアや運転時間、設定温度を工夫し、省エネの施設運営に努めた。</li> </ul>	B	

## (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

・各期制教室（8・11・12回）の途中入会がない為、ビジター券（1回券）を導入してほしい。  
→10月から各期制教室にて利用可能なビジター券（1回券）を導入した。

・夜の教室生から、開始時間の変更要望があった。  
→1月から、一部教室の開始時間を変更した。

・定員に達した卓球教室の定員を増やして欲しい。  
→卓球台を増設 受け入れ定員数を変更した。

4階フロアについて、椅子を増やして欲しい。  
自動販売機・シューズロッカー前に椅子を増設。利用者の快適性向上を図った。

6 外部専門家意見

令和6年度から新たな指定管理者となったこともあるかと思われるが、新規事業として数多くの自主事業に取り組んでいる点は評価できる。前年度の工事休館が自主事業の教室参加者が想定を下回ったとのことなので、次年度は想定以上の参加者となるよう広報等に尽力し新規顧客の獲得に向け取り組んでいただきたい。

利用促進に向けた施策が精力的に行われており一定評価できる。継続したPRの工夫や、潜在顧客のニーズを検討するなどして新規顧客獲得への取組をすすめられたい。

収支について、収入は計画を下回っているものの支出が修繕費等が想定を下回り結果として黒字となっている点は評価できる。次年度は、民間事業者の持つ経営ノウハウにより更なる増益に期待する。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立西スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	令和6年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		84.2%
達成率		105.3%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.5%	99.2%	100.3%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.4%	98.6%	99.8%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	91.9%	93.9%	97.9%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	28,012,606	23,726,760	1,354,646	第 1 体育場の照明改修工事に伴う臨時休館補填があった
	計画	26,657,960	22,508,400		
利用料金収入	実績	6,399,480	6,993,940	-591,740	第 1 体育場照明改修工事による臨時休館（1 月～3 月）により利用料減少
	計画	6,991,220	7,889,400		
その他収入 （自主事業収入）	実績	12,394,577	13,896,396	-2,076,183	第 1 体育場照明工事による臨時休館（1 月～3 月）により自主事業教室、開放DAYの休講
	計画	14,470,760	9,882,000		
合計	実績	46,806,663	44,617,096	-1,313,277	
	計画	48,119,940	40,279,800		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	15,724,430	18,832,130	846,250	予定していた配置職員の変更により、給与手当が増加した
	計画	14,878,180	17,537,400		
物件費	実績	23,051,799	16,856,285	-613,241	印刷広告費については、区の無料広報枠で掲載することで減少 使用量削減に取り組んだが、単価高騰により計画より大幅に増額となった
	計画	23,665,040	17,813,800		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	8,994,970	8,438,239	-581,750	指導委託費が計画よりも高くなったが、ラケットなどの消耗品は前指定管理者から引き継ぐことができたことや、照明改修工事に伴う臨時休館により計画よりも減少した
	計画	9,576,720	4,928,600		
合計	実績	47,771,199	44,126,654	-348,741	
	計画	48,119,940	40,279,800		

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	105.3%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・ 物品の購入及び更新は、複数社から見積もりを取り、最安価業者から購入。 ・ 備品、設備の修繕は複数社から見積もりを取り、最安価業者にて修繕実施。 ・ 小修繕に関しては業者に依頼せず、できる限り職員が対応して修繕した。 ・ 体育場含め館内の照明器具使用を効率的に行い、使用電力を抑制した。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

各教室の体験（1 回券）が、1 人 1 回のみであるのを複数回体験可能にして欲しい。  
→各教室体験（1 回券）から各教室ビジター券（1 回券）に変更し、何回も参加できるように変更。

6 外部専門家意見

新規事業として数多くの自主事業に取り組んでいる点は評価できる。  
また、高い稼働率を維持している点も評価できる。  
利用者からの要望全てに対応する必要はないが、要望を汲み上げる工夫は求められる。引き続き民間のノウハウの発揮に期待したい。  
収支状況について、3 か月の工事休館により自主事業収入が計画を下回ったことが影響しており、最終的に若干の赤字となっているため次年度は改善に向けて取り組んでいただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立西成スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	令和6年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		75.5%
達成率		94.4%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.2%	99.5%	98.7%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.1%	98.0%	100.1%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	72.8%	73.8%	98.6%

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	62,952,570	53,873,731	19,080	熱中症キャンセルに伴う補填
	計画	62,933,490	46,570,200		
利用料金収入	実績	9,128,160	9,189,520	134,380	
	計画	8,993,780	7,234,700		
その他収入 (自主事業収入)	実績	17,751,751	13,675,751	2,704,901	工営所が移転してきたため電気水道使用料 按分の受取が増加
	計画	15,046,850	10,660,656		
合計	実績	89,832,481	76,739,002	2,858,361	
	計画	86,974,120	64,465,556		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	12,872,130	24,888,330	1,033,010	プールとの按分により差異が生じた
	計画	11,839,120	24,191,900		
物件費	実績	62,586,178	68,235,981	-1,186,102	メンテナンス委託費の計上においてプール との按分後差異が生じた
	計画	63,772,280	32,747,600		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	9,684,670	8,988,979	-1,678,050	教室で使用予定の備品について計上していたが、 前指定管理者から譲り受けたため新規購入の必要 がなくなった
	計画	11,362,720	7,526,056		
合計	実績	85,142,978	102,113,290	-1,831,142	
	計画	86,974,120	64,465,556		

## 4 管理運営状況の評価(1次評価)

## (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	94.4%	B	

## (2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物品の購入及び更新は、複数社から見積もりを取り、最安価業者から購入。</li> <li>・備品、設備の修繕は複数社から見積もりを取り、最安価業者にて修繕実施。</li> <li>・小修繕に関しては業者に依頼せず、できる限り職員が対応して修繕した。</li> <li>・エアコンの運転エリアや運転時間、設定温度を工夫し、省エネの施設運営に努めた。</li> </ul>		

## (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	



令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

・開放DAYの参加方法について 1 階に並んでも 3 階に行く前に順番が変わるので不公平である。  
→ 1 階で並ぶ時に整理券を発行 入れ替わりが出来ないように対応した。  
・有料ロッカーについて、くつ等を置いておくために有料ロッカーを置いて欲しい。  
→有料ロッカーを新たに設置。

6 外部専門家意見

利用者満足度が目標値を大幅に下回っていることについては、極めて大きな経営課題である。空調故障の要因に加え他の原因も分析し、次年度は目標を達成できるよう努めていただきたい。  
多目的室を除いて高い稼働率を維持している点は評価できる。  
収支状況について、収入が計画を上回っているものの外的要因であるため、利用料金や自主事業収入の増収につながるよう対策を検討し実施していただきたい。支出についても、計画を下回っているがその要因は記載内容によると収入と同様に外的要因が大きいと思われるため、経費の削減などに取り組んでいただいているが引き続き実施いただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 1 基本情報

施設名称	大阪市立西成屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	令和6年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		86.4%
達成率		108.0%

## 2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		85.3%
達成率		106.6%

## 2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		
年度実績		
達成率		

## 利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	81,740	76,218	5,522
稼働率			

## 利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

## 利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	19,121	18,814	307
稼働率			

## 利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

## 令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	56,286,280	46,376,078	0	
	計画	56,286,280	34,211,000		
利用料金収入	実績	25,246,144	23,173,964	-876,606	利用者は増加したが収入は計画まで到達しなかった
	計画	26,122,750	26,294,800		
その他収入 （自主事業収入）	実績	22,535,775	14,834,425	279,145	教室受講者は微増だが、自販機・物販収入が計画以上の増加であったため
	計画	22,256,630	36,298,900		
合計	実績	104,068,199	84,384,467	-597,461	
	計画	104,665,660	96,804,700		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	35,736,978	39,072,720	-5,341,562	人件費の一部を事業経費に振替しているため
	計画	41,078,540	35,776,500		
物件費	実績	61,116,398	44,445,186	3,098,578	令和6年度から新たに指定管理者になった際に、メンテナンス作業に係る割合で費用を按分した結果、施設設備メンテナンスにかかる費用が計画よりも増加した
	計画	58,017,820	51,874,100		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	12,115,590	164,930	6,546,290	人件費の一部を事業経費に振替しているため
	計画	5,569,300	9,154,100		
合計	実績	108,968,966	83,682,836	4,303,306	
	計画	104,665,660	96,804,700		

## 4 管理運営状況の評価（1次評価）

## （1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	108.0%	B	
利用者満足度（トレーニング室）	106.6%	B	

## （2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物品の購入及び更新は、複数社から見積もりを取り、最安価業者から購入。</li> <li>・ 備品、設備の修繕は複数社から見積もりを取り、最安価業者にて修繕実施。</li> <li>・ 小修繕に関しては業者に依頼せず、できる限り職員が対応して修繕した。</li> <li>・ プールろ過ポンプモーターのインバーター装置を使用し、使用電力を抑制した。</li> </ul>	B	

## （3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

トレーニング場のランニングマシンについて、利用時間が30分設定だが、片付け等をするとう運動時間が30分未満になる。  
→利用時間を 5 分延長 35分設定に変更。

消毒液やマシン拭き用貸出タオルについて、トレーニング場に、感染防止用消毒液の増設とマシン拭き用貸出タオルの設置要望があった。  
→消毒液を増設。マシン拭き用タオルを新たに設置。

6 外部専門家意見

前年度と比べ、屋内プール・トレーニング室ともに利用人数が増加している点は評価できる。

収支状況について、収入は概ね計画通りに実施が出来ているものの、支出が計画を上回り結果として赤字となっている点は、経営ノウハウを有する民間事業者に委託していることを考えるといかがなものか。また要因の記載について、「人件費の一部を事業経費に振替」とあるが支出トータルとして計画を上回っているためその他の要因が考えられるのではないか。しっかりと分析し次年度は赤字とならないよう取り組んでいただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	